

平成20年度
(2008年度)

標準化活動報告書

抜粋版

抜粋版

平成21年 4月

社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会

標準化センター

■目次

1	標準化センター	1
1.1	はじめに	1
1.2	標準化センター関係委員一覧	3
1.3	標準化センター幹事会	8
1.4	JBMS 推進小委員会	11
1.5	ユーザーインターフェイスデザインプロジェクト (UIDP)	11
1.6	アクセシビリティ プロジェクト	14
1.7	カラーマネジメントプロジェクト	16
1.8	JIS 原案作成委員会	18
2	部会及び委員会の標準化活動	19
2.1	複写機・複合機部会	19
2.2	ページプリンタ部会	22
2.3	カード及びカードシステム部会	22
2.4	データプロジェクター部会	22
2.5	デジタル印刷機部会	23
2.6	コミュニケーションボード部会	23
2.7	シュレッダ部会	24
2.8	環境委員会	24

1 標準化センター

1.1 はじめに

(社) ビジネス機械・情報システム産業協会 (以下 **JB Mia** と略す。) 標準化センターとして 8 回目となる平成 20 年度活動報告書を、ここに発行する (平成 9 年標準化委員会から通算 12 回目)。今年度も活発に標準化活動を推進・展開し、センター傘下の各プロジェクト・小委員会及び部会などで、次の標準化センターの事例で示すような成果を上げた。

(1) 平成 20 年度の **JIS** 原案作成活動は、次のとおり実施した。

- ・ **JB Mia** が原案作成団体である規格原案で、平成 20 年度に発行された **JIS** は 4 件である。
- ・ 平成 19 年度 **JIS** 原案作成公募の活動は、**JIS** 原案作成委員会及びそれぞれの分科会で活動した成果として、**JIS** 原案 2 件を財団法人日本規格協会へ提出した。
- ・ 平成 20 年度 **JIS** 原案作成公募に応募した 4 件の原案作成委員会及び同分科会の活動を推進中である。

(2) **JBMS** 推進小委員会は、**JBMS/JB Mia-TR** の維持管理及び運営に関する基盤整備並びに **JBMS/JB Mia-TR** 原案のエディットを実施した。

- ・ **JBMS** の維持管理及び運営に関する基盤整備
JBMS 推進小委員会が主管する委員会運営及び規格/標準発行に関する規定・規則類の改正を行った。
- ・ **JBMS/JB Mia-TR** 原案のエディット
各委員会・部会等から提案された **JBMS** 及び **JB Mia-TR** 原案 3 件のエディットを行い、発行した。

(3) アクセシビリティ プロジェクトに関する主な活動を次に示す。

- ・ **JIS X8341-5** 「高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス—第 5 部:事務機器」を基にした、**ISO/IEC 10779:2008** (Information technology – Office equipment accessibility guidelines for elderly persons and persons with disabilities) が 2008 年 6 月に発行された。
- ・ **JIS X 8341-5** への適合自己宣言ルール化活動は、アクセシビリティへの取り組みのアピールに注力することに修正をした。検討してきた「自己宣言シート」は、**JB Mia-TR-15** (事務機器における高齢者・障害者への配慮点を紹介するための標準書式「アクセシビリティ配慮製品紹介シート」) として制定を行った。
- ・ **JB Mia** フォーラム 2008 (2008 年 6 月 6 日。於 ; 大手町サンケイプラザ) で、「アクセシビリティの国際標準化動向とアクセシビリティプロジェクトの活動紹介」として活動を紹介した。
- ・ **CEATEC JAPAN 2008** (2008 年 9 月 30 日～10 月 4 日幕張メッセ) のアクセシビリティ **PLAZA** (情報通信アクセス協議会) にアクセシビリティプロジェクトとして出展した。**ISO/IEC 10779** 及び **JBMS・JB Mia-TR** 規格類の紹介パネルの展示、

- 紹介のリーフレット配布、並びに高齢者疑似体験用具の装着デモを実施した。
- ・「米国リハビリテーション法 508 条改正 最終原案」の検討を開始し、Subpart B(機能別性能基準)、Subpart C(ハードウェアに対しての要求事項)について翻訳を行い、情報の共有化を図った。
 - ・ロービジョン(弱視)当事者や業務現場を訪問し、日常生活や職場での事務機器等の利用方法や不便な点についてヒアリングを実施し、調査報告書としてまとめた。
 - ・JBMS-80 (高齢者・障害者等配慮設計指針—視覚表示物—色覚異常に配慮した色の組合せと表示方法)、JBMIA-TR (高齢者・障害者等配慮設計指針一点字の略語表記—事務機器の操作部) の制定申請を JBMS 推進小委員会へ行った。
- (4) ユーザーインターフェイスデザインプロジェクト (UIDP) の標準化に関する主な活動を次に示す。
- ・JBMIA-TR-14 (テンキーを用いた文字入力における設計指針) を制定。
 - ・JBMIA フォーラム 2008 にて、①テンキーを用いた文字入力における設計指針、② UI 用語ワーキンググループの活動紹介、③図記号の標準化 (～ことばを越えてすべてのお客さまの使いやすさのために～) の 3 テーマ編成で UI デザインプロジェクトとして活動を発表した。
 - ・JBMIA-TR-2 (UI 用語ガイドライン) の改正 (案) を検討。
 - ・カタカナ表記検討表の作成。
 - ・「複写機・複合機-図記号」の選択におけるエンドユーザー評価の試みを実施。
 - ・新規 JBMIA-TR 「複合機アイコン標準 (1) 送信系機能」(案) の検討を実施。
 - ・図記号検討を行っている関連業界団体との連携、情報交換の活動を強化。
 - ・新規図記号標準化候補リストの作成。
 - ・ユーザーインターフェイスに関する新規標準化テーマの発掘と検討として、「UI ナビゲーションボタン、消耗品用語、節電モード」の標準化に向けた予備調査を実施。
- (5) カラーマネジメントプロジェクトの主な活動を次に示す。
- ・業界標準色再現モードの国際規格化に向け、ISO/IEC/JTC 1/SC 28 AWG/PWG 5 にて審議中の新規課題検討に候補の 1 つとして提案し、NWI-7 (Office reference print gamut・RGB encoding) として候補リストに登録された。
 - ・ISO/IEC/JTC 1/SC 28 AWG/PWG 5 にて、新規課題候補の内から NWI-10 (色域マッピング評価方法。本プロジェクトで 2005 年度に検討を完了したもの) の国際標準化を先行させることになった。本プロジェクトにてワーキングドラフトを作成し、NP 提案が承認されて、ISO/IEC 29186 として国際標準化作業が開始された。
 - ・画像保存性 WG 活動により画像保存性に係わる ISO 規格に対する JBMIA の意見の集約及び国内団体間の調整検討を行うと共に、ISO/TC 42/WG 5/TG 3 国際会議に参加し JBMIA 意見の反映と審議状況の把握を行った。

1.8 JIS 原案作成委員会

(1) 活動概況

過年度の JIS 原案作成公募に応募した平成 17 年度公募 JIS 4 件、(同) 18 年度公募 JIS 1 件及び (同) 19 年度公募 JIS 3 件の計 8 件の活動状況を把握すると共に、各 JIS 原案作成委員会の協力の下で、制定に向け活動を推進した。

- ・ JIS 制定、発行となった原案 ; 4 件。次項 (2) 参照。
- ・ 主務大臣へ制定申し出をした原案 ; 1 件
- ・ 日本規格協会/規格調整分科会審議が終了した原案 ; 2 件
- ・ 日本規格協会へ原案提出済み ; 1 件 (但し、対応国際規格の FDIS 承認遅れで規格調整分科会審議を保留中)

また、平成 20 年度の JIS 原案作成公募へ 4 件応募し活動を開始した (1 件は既に原案を 2 月 26 日に日本規格協会へ提出済み)。更に平成 21 年度 JIS 原案作成公募区分 B (締め切り ; 2 月 28 日) へ 4 件の応募を実施した。